

## 第5章 県外からの避難者への対応

### 1 停車した新幹線乗客への対応

東日本大震災により「上川一廻り谷」間に停車したJR東日本東北新幹線の乗客について、栃木県災害対策本部からの帰宅困難者受け入れ要請により、町内旅館ホテルのご理解ご協力のもと受け入れを行った。



東北新幹線が運行停止したため帰宅困難となった700名の乗客

(1) 乗客数 700名

(2) 旅館ホテルへの避難（3月11日一泊）

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| ① ホテルエピナール那須（240名） | ⑤ グランドホテル愛寿（100名）    |
| ② 松川屋那須高原ホテル（100名） | ⑥ りんどう湖ロイヤルホテル（100名） |
| ③ 中藤屋旅館（30名）       | ⑦ 町営那須いこいの家（30名）     |
| ④ ホテルサンバレー那須（100名） |                      |

(3) 輸送手段

- ① 3月11日町が町有バス2台及び民間バス5台（11日4台、12日5台）を使用し乗客の輸送を行った。
- ・3月11日湯本地区の旅館ホテル等宿泊先へ輸送した。
  - ・3月12日宿泊先から那須町スポーツセンターへ輸送した。
- ② 3月12日JR東日本バス15台により645名を南方面へ輸送し、北方面55名を町内ホテルへ誘導した。

### 2 道の駅への相談窓口設置（県）と町の対応

福島県からの避難者への対応として、栃木県が総合相談所を設置した。

県職員が避難者のスクリーニング検査や相談を受けたほか、町職員及び（社）那須観光協会、那須温泉旅館協同組合の職員が道案内や宿泊施設の案内、ガソリンスタンドやコンビニエンスストアなど近隣施設の案内などを行った。

ボランティアによる、飲み物や軽食の提供、パソコンの無料設置などの協力もあった。

- 設置日 平成23年3月16日（水）12時00分
- 設置場所 道の駅「那須高原友愛の森」及び道の駅「東山道伊王野」内
- 開設時間 24時間対応
- 主な内容 健康相談の実施、一時避難所の紹介など

※3月25日（金）「那須高原友愛の森」に相談窓口を統合。5月15日まで開設。

### 3 町避難所受け入れから二次避難所移転までの対応

町では、3月13日から町外からの避難者の受け入れを開始し、その避難所として那須町スポーツセンターを指定した。格技場とアリーナを収容場所とし、布団や衣類、食糧などの支援物資を確保し避難者に提供した。

避難者の情報収集に活用してもらうため固定電話やパソコンを1階通路に設置したほか、福島県内で発行されている新聞も避難所内に配置した。

また、施設内に情報掲示板を設置し、災害関連情報、避難所周辺の地図や生活関連情報、ボランティア情報、別荘などの住宅提供情報などを掲示して情報提供を図った。ガソリン不足の状況でもあり、避難者の近隣への移動手段として自転車の貸し出しを行ったほか、宿泊施設などから入浴提供の申し出もあり、利用希望者の取りまとめなどを行った。

避難者の食事については、4月5日までは町による食事提供を行っていたが、避難者と協議のうえ、4月6日からは避難者の当番制による自炊が始められた。

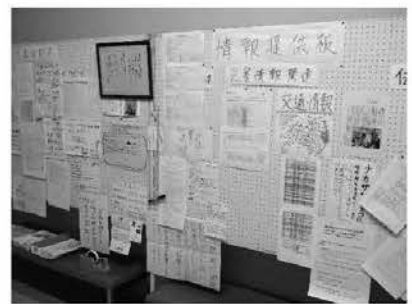
避難者の二次避難所（町内ホテル等）への移転は4月26日から始められ、4月29日に完了した。避難所の開設期間中、避難所の運営には多くのボランティアの支援をいただいた。



布団確保し避難者へ提供



固定電話とパソコンを設置



情報掲示板を設置

### 4 在宅避難者登録制度

避難所以外に在住する県外からの避難者に対して、被災前に居住していた自治体に関する情報提供等の支援を行うことを目的として、栃木県において「栃木県在宅避難者登録制度」を創設した。町では、町広報紙やホームページに掲載して制度の周知を図るとともに、避難者からの申し出による登録を受け付け、栃木県に報告した。

なお、那須町における申し出登録件数は、平成24年度末現在で38件。



## 5 学校教育での支援

福島県教育委員会は、福島県の児童生徒を数多く受け入れている栃木県に対して、福島県の教員を派遣し、避難児童生徒の心のケアと学習支援に当たらせることとした。

栃木県教育委員会はこれを受け、県内の小中学校の中から比較的多くの児童生徒を受け入れる学校として、那須町立那須小学校への受け入れを決定した。

那須小学校には、林裕一教諭（福島県会津若松市立一箕小学校）が派遣された。那須小学校は当時17名の児童の受け入れがあったが、平成23年6月に4名が福島県に戻り、避難児童は13名となった。

林教諭は、平成23年9月1日から平成24年3月31日まで勤務され、避難児童の心のケアに当たるとともに、学習指導にも尽力された。

## 6 パソコン情報端末等の設置

震災等で避難された方（二次避難者及び在宅避難者）が情報収集などに利用できるよう、無料のパソコン情報端末と電話を高原公民館ロビーに設置した。

- ・設置場所 高原公民館ロビー（1階）
- ・使用時間 平日の午前8時30分～午後5時  
（土日祝日は使用不可）
- ・設置端末 パソコン2台、電話1台
- ・その他 予約不要、無料で利用可



固定電話とパソコンを高原公民館ロビーに設置

## 7 在宅避難者の健康診査

東日本大震災に伴い避難所以外の場所で長期間にわたる避難生活を余儀なくされている被災者（在宅避難者）を対象に健康診査を実施した。

- ・対象者 18歳以上の在宅避難者
- ・検診項目 基本健診、肝炎ウイルス、骨密度、がん検診（胃、肺、大腸、乳、子宮がん検診のみ）
- ・費用 全額公費負担
- ・受診者数 2名

## 8 二次避難所での避難者生活支援

二次避難所（町内8つの旅館・ホテル）での避難者の生活を支援するため、平成23年6月に生活家電を購入し、各避難施設へ提供した。

### 【購入生活家電】

衣類乾燥機、アイロン、アイロン台、掃除機、電子レンジ、地デジチューナー